

信省國營保險に反対の態度を持続しつゝあると傳へらるるので、組合會議は飽くまで選信省案を支持し、商工省の反対を打破し、國營保險の實施實現のため此の際政治委員會をして政府關係當局に對して必要な活動をなさしむるの決定を見たので、九月十三日、松岡政治委員長は床次選相に面接し、政治委員會評議員會の決議を手交し、理由として、

- 一、保險は元來個人の營利を目的として經營さるべきものに非ず官公營によるべきである。
 - 二、全産聯は労働組合法反対のために生れ、爾來今日まで一切の進歩的政策に反対し來つた反動的の資本案團體である。先年現行健康保險法の實施されたる際に於てすら、資本案負擔の増加の苦痛を軽減せんため労働者負擔の増額を迫り之が労働爭議頻發の原因となりし實例あるに鑑み、かくの如き反動的の資本案團體の經營の團體保險に對しては一層強烈なる反對運動の展開せられるは火を賭るよりも餘であつて闘争を激生せしむること確實である
- 等を述べ選信省案通過のため最善をつくされん事を要請したるに對し、床次選相は、御趣旨は悉く諒解しました、然し政府内部で商工省と對立して相争ふわけにも行かぬので、目下根本的諒解を遂げるために努力中である。

由の答があつたので、更に松岡政治委員長より元來選信省案に商工省は反対し、全産聯の團體保險を許可したのであるから商工省に遠慮のみせられず決行せられたき旨を述べて會見を終つた。

脱退

東京瓦斯産業労働組合の脱退

昭和八年四月、本組合會議に加盟せる、東京瓦斯産業労働組合は、昭和九年六月十五日附を以て、沼田議長宛脱退届を提出

せられたので、組合會議第五回執行委員會並に第二回評議員會は、慎重審議の結果、今回の東京瓦斯産業労働組合の脱退は、本組合會議に對する不満に非らずして全く會社及び組合内部事情に原因するものであつて、事情萬已むなきを認め、之を承認するに決し、第二回評議員會後、沼田議長より瓦斯産業労働組合に對し、脱退を承認せる旨を述べ、尙、貴組合が茲に本組合會議を脱退せらるるも、今後出來る限り本組合會議並に加盟諸團體と友誼關係を持續せられ、日本の健全なる労働組合運動の發展のために協力せらるると共に、又一日も早く再び我が組合會議の陣營に復帰せられん事は、全員の熱烈に切望する所でありますので、將來の御厚誼の程併せて願上げますとの意味の挨拶状を送つた。

尙東京瓦斯産業労働組合の脱退の已むなきに至つた事情は、同組合よりの聲明書に明かな如く、從來東京瓦斯會社に於ける四千の従業員は單一労働組合を組織して居つたが、最近三年間に會社の巧妙なる分散政策のために、労働組合の陣營は全く四分五裂となり、獨り二千の同志を以て孤壘を守つて來た東京瓦斯産業労働組合は、昨年四月、社會大衆黨を支持し、日本労働組合會議に加盟奮闘し來つたのであるが、従業員の對外的行動を否とする會社首脳部は、凡ゆる手段を講じて同組合に對する彈壓を強化し來り、同組合も漸次會社の分裂政策のために其の陣營の混亂を招くに至り尙引き續き組合員の脱退を見んとする形勢に立ち至つたので、しばらく横斷的組織より退き組合の陣營を守らんと、今一つは會社の分裂政策と對立を利用する組合操縱政策のため、既に九個に分裂對立せる會社内労働組合は、互に對立が激化し、對會社の共通の利害解決に當つても歩調一致せず、組合員の利益と生活擁護上少からざる支障を來しつゝあるので、退いて先づ會社内の戦線統一を計ることの急務を痛感せるが爲めである。